

科目名	英語演習 English Practice	科目コード	50380
-----	--------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・4年（プログラム1年）
担当教員	M & Ec : 大湊佳宏, EE : 大森理聡, Mb : 米崎啓和, Ci : 河田重雄（非常勤）
区分・単位数	必履修・2単位
開講時期・時間数	通年, 60時間【内訳：講義56, その他4】
教科書	Step-by-Step Prep for the TOEIC(R) TEST Step 2 Intermediate Course (アルク)
補助教材	新 TOEIC テスト書き込みドリル全パート入門編 (桐原書店), TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター (アルク)
参考書	英和辞典, 文法書 (Forest など)

【A. 科目の概要と関連性】

この授業では、TOEIC テストに向けて、補助教材である e-learning (Net Academy 2: TOEIC テスト演習 2000) を併用しながら、よりいっそうの英語力向上を目標とする。校内一斉試験時には4年生全員が TOEIC-IP テストを受験し、そのスコアは成績に含まれる。

○関連する科目：オーラル・コミュニケーション（前年度履修科目）、英語 I（前年度履修科目）、英語 A（次年度履修予定科目）

【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 状況や物事の描写を英語で聞き取ることができ、簡単な日常会話や場内アナウンスなどを聞き取ることができる	35%	(b3)
② 英文を文法的に分析することができ、少し長めの英文を読み、その流れや内容を理解することができる	35%	(b3)
③ 新しい英語の語彙を覚え認識することができる	30%	(b3)

【C. 履修上の注意】

週に1回の授業だけでは TOEIC スコア（英語力）を向上させるには不十分である。高い目標を定め、日頃から多くの時間を英語と過ごすことを心がけること。よって無断欠席は言語道断、大きく減点される。自主学習推奨。e-learning に接続できるインターネット環境があることが望ましい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（60%）【内訳：前期末 20, 後期中間（TOEIC-IP）20, 後期末 30】
- その他の試験（20%）【単語テスト, 小テスト】
- 課題と授業態度（10%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	Introduction、実力テスト (TOEIC 演習 100①)	書き込みドリル pp.9-15
2	書き込みドリル Day1 - 3	英単語クイックマスター Unit1~5 音声ダウンロードを行い、単語の発音とつづりを結びつけること
3	Unit1	
4	Unit2	
5	書き込みドリル Day 4 - 6	
6	Unit 3	
7	Unit 4	
8	書き込みドリル Day 7 - 9	
9	Unit 5	
10	Unit 6	
11	書き込みドリル Day10 - 11	
12	TOEIC テスト演習 100②	
13	書き込みドリル Day13 - 15	
14	Review	
—	前期末試験	
15	試験解説と発展授業 <u>夏課題</u> 書き込みドリル Day16-20	

● 後期

回	内容	備考
1	夏休み課題テスト or (TOEIC テスト演習 100③)	英単語クイックマスター Unit6~10
2	Unit 7	
3	Unit 8	
4	書き込みドリル Day 21-23	
5	Unit 9	
6	Unit 10	
7	書き込みドリル Day 24-26	
8	Unit 11	
9	書き込みドリル Day 27 ~ 28	
10	Review	
11	校内一斉試験日 (1 月 14 日(木)) TOEIC-IP 全員受験	
12	Unit 12	
13	Unit 13	
14	Review	
—	後期末試験	試験時間 : 50 分
15	試験解説と発展授業	